

日本獣医生命科学大学
令和 8(2026)年度 入学者選抜
特別選抜(学士)

獣 医 学 科
小 論 文

「課題」

近年、AI（人工知能）やロボット技術の進歩は著しく、人間の仕事の多くが自動化されつつある。これは医療分野にも波及しており、画像診断や手術支援ロボット、診察アシスタントなどが実用化されている。獣医療も例外ではなく、ペット用のAI健康管理アプリや、牛や豚などの家畜管理におけるセンサー技術、遠隔診療支援システムなどが実装され始めている。

こうした技術革新は、獣医療に大きな恩恵をもたらす一方で、獣医師の職務内容や役割、さらには倫理的な課題や人間との信頼関係の在り方にも影響を与え始めている。AIが診断や治療に関与する中で、獣医師の判断の価値とは何か、人間にしかできない仕事とは何かが問われている。

このような状況をふまえ、以下のような視点から議論を展開せよ。

「AIやロボット技術は獣医師の仕事をどう変えるか」

(400字以内/60分)